

持続可能な原材料調達における金融の役割

上智大学大学院
地球環境学研究科教授
藤井良広

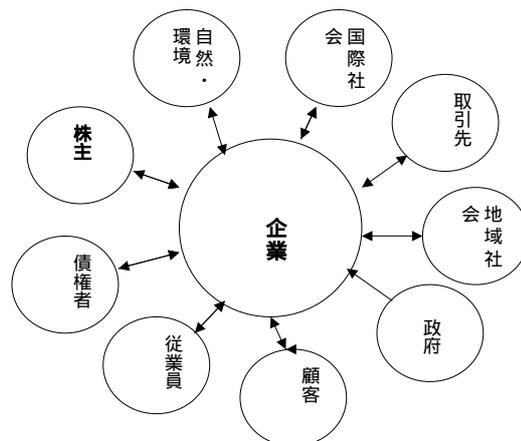
UNEP・FI宣言

- 我々は、持続可能な開発を健全な事業経営の基本的要素とみなす
- 持続可能な開発を実現させる最高の方法は、適切な費用効果的法規および経済的手段の枠内で市場を機能させることである
- 金融サービス部門は、他の経済部門と協力することで、持続可能な開発の重要な貢献者となる

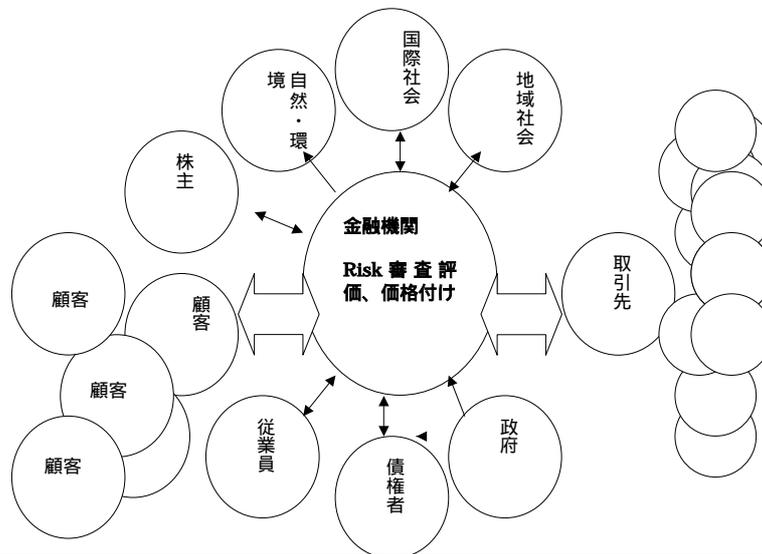
UNEP・FI東京宣言

- 金融機関は、その投融資あるいは保険の対象とするプロジェクトもしくは事業者が、社会もしくは環境にどのような影響を与えるかについて、あらかじめ適切に考慮し、社会・環境に与える影響が望ましい方向になるべく投融資および保険の対象の選定その他において適切な行動をとる

■ 一般的なマルチ・ステーク・ホルダー



■ 金融機関にとってのマルチ・ステーク・ホルダー



- 「意志あるお金」の偏在
- 先進国・高齢富裕層に偏在
- バフェットさんの4兆円

- 金融の本業とは何か
- ファイナンス 仲介と取りまとめ

- 銀行は「ベンチ」
- 人を見、話を聞き、ファイナンスする
-

- 地球公共財としての環境と金融
- 公共財とは 共同消費財(消費の非競合性)
- 排除不可能性(消費の非排除性)
- * 例えば、信号機、平和、自然環境
- 地球公共財と公共財の3つのギャップ
- 権限のギャップ
- 参加のギャップ
- インセンティブのギャップ

	公共財	地球公共財
■ 権限	国家(予算)	金融の代替機能
■ 参加	政府の形成	政府・グローバル企業 ・NGOの連携
インセンティブ	国家単位の 援助	国際協力の限界 持続可能性・金融市場

■ (地球規模の自然共有財)	懸念
■ 大気(気象)、オゾン層	過剰使用
■ 熱帯雨林、枯渇性資源	
■ (地球規模の人為的共有財)	
■ 世界共通の規範・原則	過少使用
■ 世界遺産、知識、インターネット	参入障壁
■ (地球規模の政策の結果)	供給不足
■ 平和、健康、金融の安定	
■ 自由貿易、貧困からの自由	
■ 環境の持続性、公正と正義	

■ エクエーター原則	
■ 国家単位の開発の限界(権限のG)	
■ NGOの後押しと金融の決断(参加のG)	
■ 金融クラブ財の形成(インセンティブのG)	
■ 地球公共財としての環境配慮	地球公共財
■ としての社会的配慮	

■ 新エクエーター原則

- ・2006年7月から適用
- ・適用対象事業の拡大
総資本コスト5000万ドル以上 1000万ドル以上
- ・FA案件も適用
- ・既存projectのアップグレードや拡大の際も、環境・社会的な付加的影響が大きいと適用
- ・環境だけでなく社会性(社会的リスク・インパクト)も評価
- ・顧客への守秘義務に配慮しつつ、情報開示(スクリーニング件数とカテゴリー開示)

■ 持続的な原材料調達における金融の役割

- ・金融CSRとしての融資先評価
「意志あるお金」を、行き先を見せてファイナンス
- ・地球公共財としての役割
グローバル化への対応
- ・地球クラブ財としてのエクエーター原則



■ ありがとうございました。

■ 上智大学大学院
■ 地球環境学研究科教授
■ 藤井良広